



みんなで作ろう!

魅力いっぱい

活気にあふれ

安心し心豊かに暮らせる

元気な街を!

協議会だより

まちづくり

小見川中央地区



NO21
春季号

今季報のラインナップ

- スポーツ大会 P2~3
- 地域防災力レベルアップ P5~6
- 入会地芋煮会 P7
- おみがわ桜プロジェクト P8



スポーツ吹矢大会に参加した元気いっぱいな皆さん

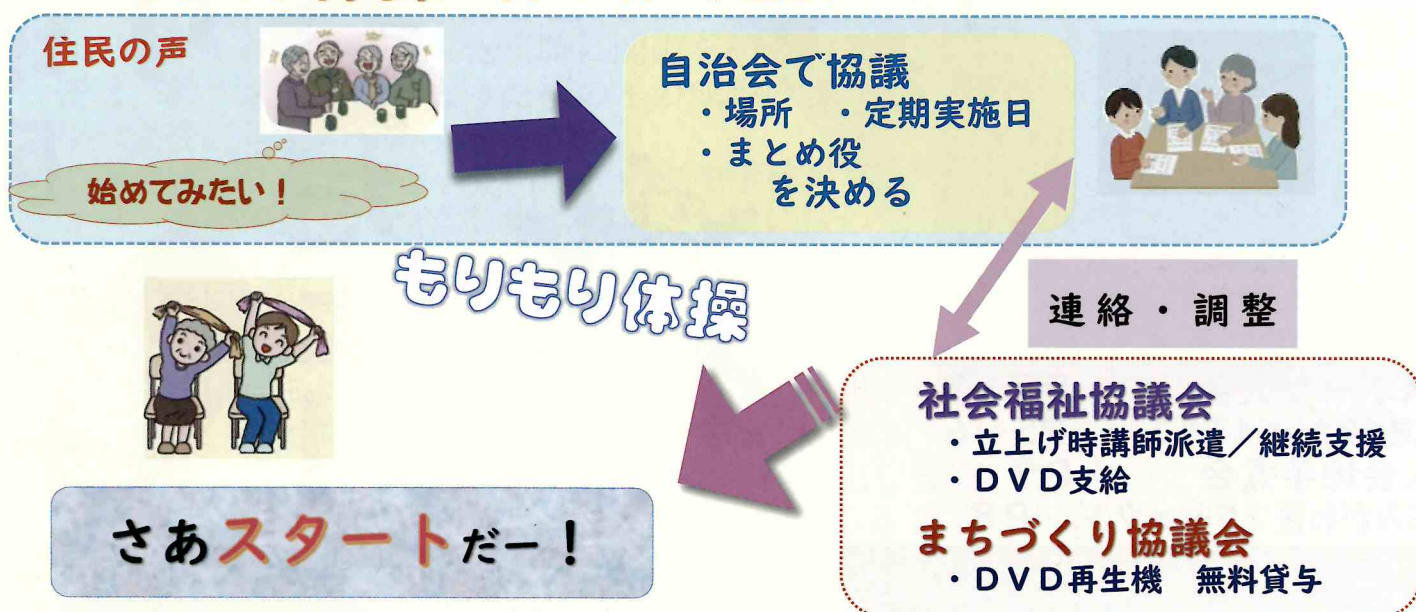
(掲載は承認済み)

協議会の活動について

❖健康増進 もりもり体操やってみよう

当協議会では、住民の健康増進を進められるように、香取もりもり体操の普及推進を進めています。現在、サロン・くろべ内、小見川団地、入会地、野田区内において、自治会・民生委員・ボランティアの皆さんに協力を頂きながら、定期的にもりもり体操会が実施されています。他地区内においても実施して欲しい声が出ています。始めてみませんか！！ 運用において、次のようなサポートを受けられますのでご案内いたします。

もりもり体操を各地域で実施するには……



❖住民同士のふれあい交流増進

協議会では、パークゴルフ、スポーツ吹矢、グランドゴルフ、ボッチャなどの各種スポーツ大会を通じて、住民同士のふれあい交流に努めています。又、今年度より、地域内の協賛企業のご協力を仰ぎながら活動を展開しています。

各種大会の開催においては、徐々ではありますが参加者が増えて、だんだん活気が現われ始めつつあるようですが未だ十分ではありません。今後、募集案内に工夫を加えて参加数増加に向けて地道に努力を傾注してまいりたいと考えています。

協議会のスポーツ大会は、協賛企業様にサポートされて活動しています

アイウ順・・・掲載

土地・建物のことなう



有限会社 朝日不動産

研鑽し合い！
楽しくプレー！
小見川シニアゴルフクラブ研修会

医療法人社団十善会
いわせ歯科
香取市本郷字川上1000
☎0478-80-1133

Chiba Shoyu Co., Ltd.
ちば醤油株式会社
☎0478-80-7177

お菓子 幸せなひと時の創造
平塚製菓株式会社
ファクトリーショップ
お得な価格で工場直売中！ ☎070-2466-2954
香取市小見川2097

パークゴルフ大会開催鈴木 進 (活性化部会長)

昨年10月末に、橘ふれあい公園において第二回パークゴルフ大会を開催しました。数日前から天気がぐずつく状況でありましたが、段々良くなっていく情報を得てゴルフ場に向かったところ、オープン前にも関わらず既に数十名が集まっていたやる気ムンムンの中、受付を開始しました。雨模様の為、参加者は事前申込数より21名少ない41名となりましたが大会を開催。事前ミーティングで、諸注意事項を案内していきよいよプレー開始。使用コースは、比較的優しい「さつき」と「いぶき」コースで計18ホールをプレーし技を競い合いました。プレー開始直後から天気も回復してきたので、皆さんは気分も盛り上がり、チーム内で楽しくプレーし合ってたくさんの笑いに包まれながら楽しむことが出来ました。



いぶきコースからスタートした皆さん



さつきコースからスタートした皆さん



プレー終了後に打数を集計し、優勝/準優勝/3位賞並びに順位賞を決め表彰式を行いました、受賞者は次の方々でした。おめでとうございます。

(左から)準優勝:吉原睦さん、優勝:真砂明さん、3位:宮島春子さん

ゴルフは、ボールを打ち合い、数コースを回り合計打数で順位を決める競技であり、ただ打つだけでなく、水辺や障害物が設定されているので結構頭も使うスポーツでもあります。皆さん一様に楽しまれ次回を楽しみに！と、笑顔で帰宅の路について頂きました。

スポーツ吹矢大会開催西岡敏明 (協議会顧問)

令和6年12月7日、小見川スポーツコミュニティーセンターで28名の参加により、スポーツ吹矢大会を開催しました。参加者の内訳は、同好会メンバーも含めて大人24名、小学生4名で行われました。競技は、参加者を3グループ(経験者グループ、大人初級者グループ、小学生グループ)に分かれ競い合いました。

ルールは、直径24cmの的を、大人は6m、小学生は5mの距離で5本の矢を使ってプレーするのですが、吹く力が弱いと的まで届かず、強すぎると上方向に発射されてしまいゼロカウントになってしまいます。5本単位で4回の試技を行い、同心円上の的で、一番狭い中心円で7点、次に狭い6cm円で5点、次に3、1、0点と突き刺さったエリアによって点数を獲得出来、合計点数を競い合って順位がつけられます。大会は、満点賞などが出たりハイレベルな競争の中で行われました。写真の方々が、クラス別優勝者でした。



おめでとうございます。

(写真左から) 一般の部・高安弘志さん、小学生の部・高谷悠太さん、経験者の部・西岡敏明

大会開催に際し、協議会では、体験会を行いルールや礼儀、姿勢、矢の吹き方、腹式呼吸のやり方などを学びますので、初心の方でも競技に参加できるようになります。是非ご興味のある方は、次回開催時に体験会から始めてみましょう。お待ちしております。

かくいう私も体験会からスタートし、始めて3年目になります。今では3段位となり、昨年行われた千葉県大会に出場し、Bクラスでしたが3位となって県代表として全国大会に出場しました、結果は、満点：210点中190点を獲得出来たのですが、残念ながら入賞出来ず9位でした。

吹矢は複式呼吸をしながら精神集中しますので健康面にも効果的です。これからも引き続けてエンジョイしながらプレーして行きたいと思っています。

今後のスポーツ大会開催について

1月24日（金）にグランドゴルフ大会（場所：青少年自然の家グランド）、3月27日（木）にボッチャ大会（場所：いぶき館多目的ホール）を開催致しました。紙面の都合上、内容は次報にて詳細に報告致します。

✿ YOSAKOI祭リブースで協議会活動をPR・・・鈴木 進（活性化部会長）

昨年11月に行われたおみがわYOSAKOIまつりの会場において、まちづくり協議会の活動を紹介しました。前年とは打って変わって上天気のもとで開催されましたので、お客様の出足も好調で多くの方々が当ブースを訪問して下さいました。

ブース内では、モニターを使用して、各地区：入会地区、小見川団地、野田青年館、駅前サロンくろべで行っているもりもり体操の実施状況を放映しながら、パネルを使い協議会活動のアレコレを紹介、またメンバーが少ない小学生通学路の防犯パトロール員の募集等、ボランティア員の勧誘も行いました。

当日は、モニターの前でもりもり体操を実演して頂いた方にはお礼品（タオル）を差し上げ、アンケート募集に協力（45名）して頂きました。回収した結果によりますとまちづくり協議会は51%の方に認知されていると回答を頂き、協議会活動の中で知っている項目は？の問いに対し、もりもり体操実施⇒10名、研修会開催⇒3名、続いてサロン活動推進、安全パトロール、広報誌の発行、花植え活動と続いていました。回答ではもりもりもり体操実施が最も多く、今後も引き続き進めて欲しいとの要望が強いことが分かり、改めてこの事業推進の必要性を強く感じました。

同時に移動困難者を無くす課題（＝ライドシェアの取り組み）について準備委員会メンバーが懇切丁寧に説明しながら、課題や今後の方向を探るアンケートを実施し意見を収集させて頂きました。



✿ 駅前プランターの花植え替え

駅前石像周囲のプランターに花を植え管理しています。

12月1日（日）に葉ボタンに植え替えました。葉ボタンは、元気に育ち、鮮やかな色合いを醸し出しています。

ご近所の皆様や電車通勤の皆さんや小見川に来られた観光客の方々に一腹の癒しを感じられましたら幸いです。



❖ **生き生き！高齢者づくり**……………八重田正巳（生活安全部会長）

サロンくろべの運営

- ① サロンの開催 9：30～12：00
第1、第3金曜日の開催
 - ・スタッフがお茶や珈琲を無料で提供しています
 - ・楽しいお話会や囲碁・将棋もやっています
- ② 体操や脳トレの開催 13：00～14：30
 - ・大型スクリーンで先生の動きを映しながらもりもり体操をしています
 - ・講師指導のもと、体と脳をリフレッシュして健康長寿を伸ばしましょう！
 - ・参加者も増えています！
 - ・脳トレ、リズム体操の開催では体力測定も実施中です



❖ **中央小通学路の安全確保**

交通安全指導員のモチベーションアップ

『交通安全講習会』の開催……小見川幹部交番 中村所長の講話

- ・交通安全、防犯パトロールの心得
- ・事故から身を守る自己防衛対策などの講義を行って戴きました

『交通安全指導員の交流会実施』

- ・参加者からの要望を収集、問題点の集約化
- ・パトロールでの安全装備等について



通学路防犯カメラの整備

❖ **地域自主防災力の向上**……………八重田正巳（生活安全部会長）

最近取り沙汰されている大型地震や、ご当地に流れる利根川の氾濫による水災害、火災トラブルなど、一端災害が起こると、いの一番に必要なことは、共助による地域・自主防災力を発揮した対応力であることは言うまでもありません。

今般、自治会を中心とした防災訓練が、行われましたのでご紹介します。

おみがわ団地での防災出前講座実施

10月20日（日）に、マイタイムラインに関する出前講座が行われた。防災マップを活用して、団地内及び周辺エリアの水害リスク洗い出しと避難方法の確認。個人々毎に異なる家庭の状況に応じた実践的な行動計画（マイタイムライン）を作成し災害発生に備えました。

入会地地区の防災訓練について

入会地地区において、千葉県当方沖 50km でマグニチュード 7.8 の大地震発生、当地区で震度 6 強の地震となったことを想定した防災訓練が行われました。地震発生の基本的訓練＝ドロップ（姿勢を低く）→カバー（体・頭を守る）→ホールドオン（揺れが収まるまでジッとする）→避難行動、の確認を取り合いました。組織行動訓練としては、被災状況等の把握と火災やその他 2 次災害発生が無いかなどの被災状況チェック、班単位での人的安否確認を実施しました。又、負傷者が発生したという想定で救出訓練と搬送訓練を行いました。その後、炊き出し訓練と称して芋煮

を作り、終了してから参加者 60 名による試食会を実施しました。

訓練により、団体活動の必要性、迅速な危機対応が取れるよう公設消防隊や近隣の救助隊との連携プレーが不可欠であることを強く感じました。



(人員点呼)



(被災状況の確認)



(救助訓練)

今後は、他地区サロンでの自主防災づくりなど他地区への拡大を図ってまいります。

❖市民郊外学習研修会を開催しました……石毛正俊（歴史文化教育部会長）



市民郊外学習研修会を開催した。参加人数は 36 名で市民バス・いぶき号に乗り

①千葉県立房総のむら②麻賀多神社③宗吾霊堂④成田空港展望を訪ねた。房総のむらは栄町にある県立のテーマパーク。古民家の街並みは、一世紀前の街の様子を復元したもので、明治時代にタイムスリップした感覚を味わった。麻賀多神社では千年杉に拝礼、巨大ご神木のパワーを吸引したあと、当研修のハイライトで

ある宗吾霊堂へ。江戸初期四代将軍の時代に、佐倉藩の苛政に苦しむ農民を救うため、たった一人で徳川家綱に直訴。訴えは聞き届けられ領民は救われたが、その罪により一家は全員が磔刑に処せられる。何と百年忌の際に佐倉藩はその失政を悔い、名誉回復に至る。「義民運動」は現代の民主運動のルーツと認識され多くの観光客が訪問しているようだ。



フィナーレは、これまでの千年の歴史を超えて、一気に現代へ。成田空港の展望デッキに上がり、旅客機の離着陸を目の当たりにし、飛行機の機体の重さに比して大きなエンジン音を出し飛び立つ様にエネルギー感を感じた。

当日は快晴の下、一緒に参加された皆さんと歴史の深み&流れを感じつつ、日本の玄関である超近代的な成田空港を訪ね、充実した一日を過ごせました

令和7年度の当部会活動計画

☆平成初期の水彩画集「小見川百景」の復刻、

令和の「新小見川百景」の企画

☆秋の市民郊外学習は、銚子ジオパークの探訪

☆小見川街中歴史回顧座談会及び見学会

☆城山公園の史跡整備と草花観察会の実施等々

❖小学校出前講座「残したいね～おみがわの自然」

……河津智人（中央小教頭先生）



昨年11月7日に、小見川中央小学校の体育館で水越正彦先生の講演会が開かれました。演題は「残したいね小見川の自然 ～美しい小見川の四季とその秘密～」で、当日は、中央小学校の学校公開日でもあったため、対象となった6年生の児童83名だけでなく、学校の保護者や授業のない職員も参加することが出来ました。また、地域の方々にもあらかじめ回覧板で周知を図って戴いたため、香取市議会議長の河野節子様をはじめ、学校外から多くの皆さんがお集まり下さいました。

講演では、これまで水越先生が撮影した香取地区の里山の風景や動植物の写真をたくさん見せていただきました。また、子どもたちが、より楽しんで参加できるようにと随所にクイズを交え、正解した子どもはプレゼントをいただくことができ、とてもうれしそうに友達に自慢していました。子どもたちからは、「いつもの授業と同じ45分だったけれど、あっという間だった。」「自分たちの住んでいる小見川には、いいところがたくさんあることを教えてもらえた。」などの感想が聞かれました。こうした貴重な講演をしていただける機会をいただき本当に良かったです。ありがとうございました。

❖ 生き生き！高齢者づくり、地区活動事例ウオッチング

◆入会地区「防災訓練&芋煮会」活動紹介……石井典雄（協議会事務局長）
【防災訓練については先に掲載されているのでここでは省略】

入会地区では、自治防災組織を立ち上げてから、有志で実施していた芋煮会を防災用炊き出し訓練に変え、一連の防災訓練に併せて、毎年10月に実施しています。

芋煮会は、実行委員会のメンバー（山形県出身者）を軸に、高齢者クラブ、自治会、子供会の保護者などのグループと打ち合わせをして、当日のスケジュール決定、機材（コンロ等）の手配、食材の買い出しなどを事前に準備し実行しています。また自治会の皆様には回覧等でお知らせして参加募集を行っています。その結果、毎回、60～70名の多くの皆さんが参加して下さり、地域挙げてのビッグイベントになっています。

芋煮の材料は、サトイモ、こんにゃく、牛肉、マイタケ、ネギ、うどん。サトイモだけは自分の食べる分を皮むきすることを原則としていて、その他の材料は高齢者クラブや女性の皆さんの協力によって、必要な大きさにカットして3等分にして、3セットの大型のコンロ／大鍋を使って調理しています。材料を煮込んだ後は、砂糖、酒、醤油（山形産芋煮専用）で味付けをしますが、それぞれの大鍋の仕上がりで微妙な違いがあり、食べ比べするのも大きな楽しみになっています。

芋煮料理を存分に楽しんだあとは、最後の締めはうどん。別に残したおいた材料と一緒にして、味を調べてから防災訓練の反省と日頃の住民同士のコミュニケーション不足を解消するかのように会話が弾んで、十分に味のしみこんだうどんを召し上がります。何ととっても、全員の心が一つになってイベントを済ませた達成感と適度な疲労感を感じながら飲むビールの味は格別感じます。

実際の炊き出しとは趣が異なる芋煮会ですが、これを機にして防災について皆さんで共通認識できる良い機会であり、結果として地域の活性化につながる良いイベントでもありますので、今後も継続して行っていきたいと思います。



加水だけで出来あがる非常食の準備



調理はみんなで楽しく！



全員集って元気よくカンパイ！

❖ トピックス

当協議会では、町内のボランティア活動をサポートしています。今回は、ふるさと小見川の地に桜の木を増やそうと活動しているグループを紹介します。

『僕たちの桜』を増やそう・おみがわ桜プロジェクトについて



…………河野節子(おみがわ桜プロジェクト会長)

私たち「おみがわ桜プロジェクト」は、2014年から『僕たちの桜』と銘を打ち、黒部川から利根川に通じる堤防脇に「関山」と「思川」という桜を、駅裏には可憐な花をつける「鎌足桜」を、そして昨年、中央小創立150周年を記念して、校庭の端に「八重紅枝垂桜」を植樹してきました。このプロジェクトがスタートした当時に関山を植えた子供達は、幹も太く立派になった桜の木の成長のように今や高校三年生になっています。

この会は、昭和38年小見川町立中央中学校の卒業生が、還暦同窓会で発案したふるさとの地に桜の木を増やそうと始めた植樹プロジェクトですが、維持管理の大変さと、寄せる年波には勝てず、作業メンバーも一人二人と少なくなっています。が今は、一緒に植樹に参加した保護者を始め若い世代が加わり、毎月第二日曜日の朝に、植樹地を順繰りに廻って枯れ枝処理や下草刈りなどの作業に精を出し管理しています。

一緒に桜の木を植えた子供達が大人になって、ふるさとの『僕たちの桜』を自慢できることを願っています。わたくしたちが、中央小学校の入学式の度に満開の桜を見ながら「この桜は、お父さん(お母さん)たちが植えた桜なんだよ」と子供たちに自慢していたように！



【植樹地の下狩り作業の様子】

【創立150周年記念植樹の様子】



【詳細動画はこちら ↓】



【妙見神社前グループ】 【くすの木グループ】 【体育館前グループ】

【2025年2月植樹の様子】



一緒に活動しませんか

発行	小見川中央地区まちづくり協議会
発行日	令和7年3月31日
責任者	根本武彦 連絡先 ☎080-2565-9226
編集委員	(アイウ順) 石井典雄 石橋宏一、鈴木 進、中野 清、西岡敏明